

Die Kritik von Hajime Tanabe an Iwao Koyama

, (2003) :. (15). pp. 43-71.

Authors/Creators:
March 2003

	Nishida	Hajime	Koyama
Philosophische Logik	topologische Logik	Logik der Spezies	topologische Logik
formelles Prinzip	absolut widersprüchliche Selbstidentität (positives Prinzip, welches auf dem Prinzip des absoluten Nichts basiert)	absolute Vermittlung, absout negierende Vermittlung	Identität von Anfrage und Antwort (aktives Prinzip von Anfrage und Antwort, je nach situativem Feld)
wesentlicher Inhalt	handelnde Anschauung	handelnde Anschauung	wechselseitig verneinende Vermittlung
Besonderheit der Logik			

○ 西田、田辺、高山の哲学論理の比較

	西 田 哲 学	田 辺 哲 学	高 山 哲 学
1. 哲学的論理	場所的論理	種の論理	場所的論理
2. 形式的原理	絶対矛盾的自己同一 (絶対無の原理に基礎づけられる積極的原理)	絶対媒介・絶対否定媒介 (無を無の場所ではなく、否定の活動態に置き同一性を立てない消極的原理)	呼応的同一 状況的場における、呼応一如の積極的原理)
3. 実質的内容	行為的直観 (一般者の普遍と個物の論理)	行為的媒介 (類・種・個の絶対媒介)	相互否定媒介 (場・所・個の呼即応、応即個)
4. 論理の特徴	① 自己同一を「有」として認める ② 形式的原理は積極的 ③ 実質的内容に論理性なし(論理そのものの意義や地位に不明を残す) ④ 活動決着の規準あり(行為=直観) ⑤ 創造の原理あり(直観=行為) ⑥ 弁証法的性格が強い	① 自己同一を「有」として認めない ② 形式的原理は消極的 ③ 実質的内容に論理性あり(論理は片面―否定面のみで、不十分) ④ 活動決着の規準なし ⑤ 創造の原理なし(原理として不十分) ⑥ 弁証法的性格が強い	① 自己同一を「有」として認める ② 形式的原理は積極的 ③ 実質的内容に論理性あり(論理は否定即肯定―真空即妙有で十分) ④ 活動決着の規準あり(応=呼) ⑤ 創造の原理あり(呼=応) ⑥ 弁証法的性格が弱い